

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月11日 (2008.12.11)

【公開番号】特開2006-313305(P2006-313305A)

【公開日】平成18年11月16日 (2006.11.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-045

【出願番号】特願2005-321536(P2005-321536)

【国際特許分類】

G 0 9 B 21/02 (2006.01)

B 4 1 J 3/32 (2006.01)

G 0 6 F 17/22 (2006.01)

【F I】

G 0 9 B 21/02

B 4 1 J 3/32

G 0 6 F 17/22 5 1 4 X

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月27日 (2008.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

墨字用の文字列を示す文字情報を入力する入力手段と、
前記文字列の文節の区切りを示す文節情報を設定する文節設定手段と、
前記文字情報と前記文節情報とを対応づけて記憶する記憶手段と、
前記文字情報に基づき前記文節情報を参照し、点字翻訳仕様に従って前記文字列に対応する点字列を示す点字情報を作成する点字翻訳手段と、を備えたことを特徴とする点字情報処理装置。

【請求項 2】

前記記憶手段は、前記文節情報を前記文字情報の付随情報として共に記憶することを特徴とする、請求項 1 に記載の点字情報処理装置。

【請求項 3】

前記記憶手段は、前記文節情報を前記文字情報に対応づける文節対応テーブルを記憶する文節対応テーブル記憶手段を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の点字情報処理装置。

【請求項 4】

前記文節設定手段は、前記文字列の少なくとも一部が仮名文字列のときに、その仮名文字列の少なくとも一部を、前記文節の 1 つとして指定する仮名区切り確定手段を有し、
前記文節情報には、前記文節を指定する際の区切りを示す仮名区切り情報が含まれることを特徴とする、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の点字情報処理装置。

【請求項 5】

前記文節設定手段は、入力された前記文字列の少なくとも一部が仮名文字列のときに、その仮名文字列の少なくとも一部を指定して仮名漢字変換を行って、少なくとも一部に漢字を含む漢字混じり文字列を、前記文節の 1 つとして作成する仮名漢字変換手段を有し、
前記文節情報には、前記文節を作成する仮名漢字変換の際の区切りを示す漢字変換区切り情報が含まれることを特徴とする、請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の点字情報処理装置。

装置。

【請求項 6】

前記仮名漢字変換手段は、前記仮名文字列に対する複数の変換候補情報を有し、当該複数の変換候補情報の選択結果に基づいて前記仮名漢字変換を行うものであり、

前記記憶手段は、前記複数の変換候補情報に対し、分かち書きを行うものを行わないものとの区分けし、

前記点字翻訳手段は、前記変換候補情報の選択結果と、前記区分けした情報とに基づいて、前記点字情報を作成することを特徴とする請求項 5 に記載の点字情報処理装置。

【請求項 7】

入力した文字情報の点字翻訳を行う点字情報処理装置であって、

各品詞における複数の変換候補情報を有し、前記複数の変換候補情報の選択結果に基づいて、前記文字情報を仮名漢字変換する仮名漢字変換手段と、

前記文字情報を、点字翻訳仕様に従って当該文字情報に対応する点字情報を作成する点字翻訳手段と、

前記各品詞に対する前記複数の変換候補情報に対し、分かち書きを行うものを行わないものとの区分けした区分け情報を記憶する記憶手段と、を備え、

前記点字翻訳手段は、前記変換候補情報の選択結果と前記区分け情報とに基づいて、前記点字情報を作成することを特徴とする点字情報処理装置。

【請求項 8】

前記点字翻訳手段は、

作成した前記点字情報の点字列をそのまま読んで発音した文字列に相当する点訳文字列を作成する点訳文字列作成手段と、

前記点訳文字列および前記点字翻訳仕様に基づいて、前記点字情報の少なくとも一部として、前記点字列のマスイメージのイメージ情報を作成する点字変換手段と、を有することを特徴とする、請求項 1 ないし 7 のいずれかに記載の点字情報処理装置。

【請求項 9】

請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の点字情報処理装置と、

前記点字翻訳された点字を処理テープに打刻する点字打刻手段と、を備えたことを特徴とするテープ処理装置。

【請求項 10】

前記文字情報に基づいて、前記処理テープに墨字を印刷する印刷手段を、さらに備えたことを特徴とする請求項 9 に記載のテープ処理装置。

【請求項 11】

墨字用の文字列を示す文字情報を入力し、当該文字列の文節の区切りを示す文節情報を設定し、前記文字情報と前記文節情報とを対応づけて記憶しておいて、前記文字情報に基づき前記文節情報を参照し点字翻訳仕様に従って、前記文字列に対応する点字列を示す点字情報を作成することを特徴とする点字情報処理方法。

【請求項 12】

日本語文書作成機能の仮名漢字変換機能を利用して、入力した文字情報の点字翻訳を行う点字情報処理方法であって、

前記仮名漢字変換機能の各品詞に対する複数の変換候補情報に対し、分かち書きを行うものを行わないものとの区分けしておき、

前記変換候補情報の選択結果と前記区分けした情報とに基づいて、前記点字翻訳を実行することを特徴とする点字情報処理方法。

【請求項 13】

コンピュータを、請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の点字情報処理装置における各手段、若しくは請求項 9 または 10 に記載のテープ処理装置における各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 発明の名称

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【発明の名称】 点字情報処理装置、テープ処理装置、点字情報処理方法およびプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0001

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、点字情報を処理する点字情報処理装置、テープ処理装置、点字情報処理方法およびプログラムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0005

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、解析等のための膨大なメモリや煩雑な制御が不要で、且つ、点字翻訳仕様に關する正確な知識が無い晴眼者であっても、墨字情報に基づいて点字情報を容易に作成できる点字情報処理装置、テープ処理装置、点字情報処理方法およびプログラムを提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0032

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0032】

また、本発明のプログラムは、上述のいずれかの点字情報処理装置またはテープ処理装置における各手段として、コンピュータを機能させることを特徴とする。また、上述のプログラムを、記憶媒体に記憶し、プログラム処理可能な装置によって読出可能としても良い。